

小平市議会定例会 代表質問通告書

質問件名 小平市のこれからのまちづくりについて

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください。)

現在小平市では(仮称)第4次長期総合計画の策定に向けて準備がすすめられています。具体的な将来像を描き、これからの小平市のまちづくりをどうしていくのか市、市民、事業者それぞれが主体となって考え、決定していく必要があります。

少子高齢化が社会的な問題となり右肩上がりの経済成長が望めないなか、小平市の魅力をアップさせるとともにコミュニティの充実など、これまでとは違った方向での生活の豊かさが求められます。

小平市都市計画マスタープランのまちづくりの目標1では、顔をもったまちをつくるとしており、ここでいう顔は鉄道駅中心拠点の形成、鉄道駅中心拠点を結ぶ道路・交通ネットワークの充実としています。そこには市民の暮らしを豊かにするという理念があってこそ顔になりうるものと考えています。小平市のこれからのまちづくりが、より市民に寄り添い充実したものになるように以下質問します。

- 1、令和元年度(2019年度)予算では小平市都市計画事業基金が43億円余り積み立てられています。さまざまな都市計画があるなかで優先順位を含めて見直しも必要です。どのように決定していきますか。
- 2、高齢化にともない、公共交通ネットワークの充実は必須です。コミュニティタクシー4ルートの実施の後、次のステップとして、民間の事業者との連携も含めて市内の交通網をどう作っていきますか。
- 3、小平市の大きな魅力である緑の保全・創出については、どこにどのような緑を残すか、または創出するか実効性を発揮することが大切です。そのためにはランドデザインを描くことが必要だと考えますが見解は。
- 4、小平市の将来を担う子どもや若者施策の根底には子どもの権利を保障する視点を持つことが重要です。困っている子ども若者だけを対象とするのではなく、すべての子どもや若者を対象とした施策をすすめていく必要があると考えますが見解は。
- 5、少子高齢化がすすむ中、まちづくりには市民参加と協働が欠かせません。どのように進めていきますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和2年2月12日 小平市議会議長 殿

会 派 名 生活者ネットワーク 受付番号【 】-(/)

代表質問議員氏名 さとう 悦子 整理番号(通しNo.)… …()